

令和4年度福島県不妊症・不育症支援ネットワーク協議会

議事録

日 時：令和4年9月2日(金) 19:00～20:00

場 所：ZOOMによるオンライン開催

参加者：別紙のとおり

※県情報公開条例第7条第5号の不開示事由（審議、検討又は協議に関する情報）に該当する情報を扱うことから、「3 協議事項」以降は非公開とした。

1 開会

福島県こども未来局佐藤次長より開会の挨拶と福島県子育て支援課より立ち上げの経緯について説明。

・近年、晩婚化や晩産化等の影響により不妊治療件数は増加傾向にあり、さらに今年4月からの保険適用を受け、治療への期待はより高まっている状況にある。不妊治療を受ける方が増加していくのに伴い、これまで以上に治療を受ける方への支援の重要性は高まってきている。

・不妊症・不育症に関する支援については、医療分野だけでなく、グリーフケアや里親制度等を含む心理社会的な支援や、治療と仕事との両立支援、思春期保健等の周知啓発事業など、関係機関による多方面からの支援が必要とされている。

・不妊治療を希望する方が増加している中で、県として「日本一子どもを産み、育てやすい環境づくり」を目指していくために、関係機関が課題等を共有し、今後の支援について協議する場が必要であると考え、本協議会を新たに立ち上げることとした。

・構成団体は別表のとおり。任期については、2年としている。

2 会長、副会長の選任（資料1）

設置要綱第4条の会長及び副会長の選任については、互選によることとされている。選出のための仮の議長として、こども未来局の佐藤次長により進行。

委員からの推薦なく、会長に公立大学法人福島県立医科大学附属病院生殖医療センター部長の菅沼亮太委員、副会長に一般社団法人福島県医師会常任理事の新妻和雄委員とする事務局案が提出された。委員からの異議なく、決定された。

3 協議事項

非公開